政策コメンテーター報告（第3回、意見照会期間：2015年4月1日～4月15日） キャシー松井：ゴールドマン・サックス証券株式会社マネージングディレクター

質問事項		記述式回答
経済再生と両立する財政健全化		
1	以下の二つの取組について、先進的な取組事例や具体的な取組のご提案がございましたら500字以内でご記入ください。 ①公的サービスの質の向上と歳出効率化に向けた、国民・企業・自治体等の自発的な取組を促すようなインセンティブ改革 ②これまで行政が担ってきた公的分野について民間の多様な主体との連携を促進することにより、その創意工夫と民間資金の活用を図る「公的部門の産業化」	支出を削減させる必要がある: 具体的には、日本は各納税者の資産状況をより包括的に把握するために「マイナンバー」制度を採用し、年金や医療費などの給付金交付審査のための家計調査を開始すべきである。スカンジナビア諸国と同様に、富裕層に対しては公的年金の受給資格を付与するべきではなく、医療費の本人負担を拡大させるべきである。
2	2020年度の財政健全化目標を堅持することとしておりますが、その道筋についてご意見がございましたら500字以内でご記入ください。	税収を増加させる必要がある: (1) 税金徴収を確実にすることで課税基盤の拡大させる(本来当社の見るところ、現在納税システムから逃れている個人や企業が少なくない)、(2) 持続可能な経済成長を促進し、消費と所得税収を増加させる。